

書籍のご案内

超音波探傷試験 I

編集：(社)日本非破壊検査協会

編集委員長 白井 越朗

体裁：B5版, 115頁

定価：本体 2,667円+税 (送料別)

初めて超音波探傷を学ばれる方に

超音波探傷とは、超音波を種々の材料や溶接部の中に入射して、その性質やきずの有無、大きさを調べる試験方法である。

特に初心者にとって大切なことは、正確な探傷の方法を習得する事で最初に正しい手段を覚え、後は反復練習により技術を習得しなければならない。

昔から諺にも「習うより慣れろ」と言われている。探傷器のどの「つまみ」を操作すればブラウン管上の超音波探傷図形がどの様に動くか、探触子をどう動かすかと超音波探傷図形がどう変わるか、理屈でなく自然に手が覚えていなければならない。この事は車の運転を考えれば容易に理解できる筈である。車を運転する時、一々考えながらハンドル操作やペダルを踏む者はいない。それは経験が増すと頭で考えるより無意識に手や足が反応するからである。

この参考書は、超音波探傷を志す初心者用の参考書として、また超音波レベル1(1種)技術者の資格取得用として、理解しやすいように、できるだけ理論的なものを避けて、探傷器及び探触子の操作に重点を置いて編集した。

以下に目次を示す。

- 1 非破壊試験技術者の役割と安全衛生
 - 2 探傷を始める前に
 - 3 探傷装置
 - 4 探傷装置の性能と点検
 - 5 試験片
 - 6 垂直探傷
 - 7 斜角探傷
 - 8 その他の探傷
 - 9 自動探傷
 - 10 NDT 指示書
 - 11 用語解説
- 付録 超音波探傷関連規格一覧

以上

